

## 見えないけど重要な下水道

突然ですが、カンボジアでの生活は快適ですか？ 現代において快適な生活を送るには衣食住だけではなく、道路、上下水道、電力、通信などの社会基盤が整っていることが重要です。カンボジアは急激な発展とともに各種基盤の整備も進み、都市部ではそれほど不自由せずに生活ができていると思われま

す。一方で、街中の水路から悪臭を感じたり、郊外で真っ黒な水に白い泡が浮かんだ湖を見かけたりしませんか。

また、今年も河川の洪水だけでなく街中での浸水被害もありました。このように、地方はもちろん都市部でも下水道や処理施設の整備はまだまだといった状況です。

私たちの「プノンペン都庁及び公共事業・運輸省下水管理能力強化プロジェクト」では、この下水道に関する法令や



職場同僚とクリーンアップにチャレンジ

技術ガイドライン整備等の支援を行っています。

簡単に言うと、ルール作りです。ルールがないままではやり方がわからず手を付けなかったり、施設を正しく整備できなかったりと困ったことになりま

す。私を含め3人の専門家が派遣され、省と都の下水道部局とこのルール作りを進めるとともに、下水道関係職員の能力向上を目指しています。

日頃皆さんが気にされることはないかもしれませんが、下水道は快適な生活や公衆衛生を維持し、街の発展と自然や遺跡群との調和を乱さないようにするために必要不可欠です。

また、下水道や水路にゴミを流さない、ゴミのポイ捨てをしないと市民の意識も重要です。身近なカンボジア人の方と共に協力いただければ幸いです。



プノンペン郊外の汚濁が進む湖沼

### 小松 海里 KOMATSU Kairi

1984年東京生まれ千葉育ち。土木工学、衛生工学を専攻し、2009年日本下水道事業団に就職。東京、兵庫、福井、宮城で下水道の仕事に従事。2019年7月より本プロジェクトの専門家として赴任。カンボジアで一番好きなのは、ワットプノン近くの職場からトンレサップ川沿いを歩いて帰る夕方の川辺風景です。